



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日

上場会社名 株式会社 イントランス 上場取引所 東
 コード番号 3237 URL <http://www.intrance.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)濱谷 雄二
 問合せ先責任者 (役職名)管理本部 部長 (氏名)北川 雅章 (TEL) 03-6803-8100
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (金融機関・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,051	130.6	△451	—	△632	—	△634	—
2020年3月期第3四半期	455	△82.5	△546	—	△582	—	△584	—

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △635百万円 (—%) 2020年3月期第3四半期 △583百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△17.11	—
2020年3月期第3四半期	△15.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	3,180	1,388	42.9
2020年3月期	4,027	2,010	49.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 1,365百万円 2020年3月期 1,997百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,500	198.0	400	—	150	—	120	—	3.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期3Q	37,131,000株	2020年3月期	37,131,000株
2021年3月期3Q	60,400株	2020年3月期	60,400株
2021年3月期3Q	37,070,600株	2020年3月期3Q	37,070,600株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、消費マインドの低下が進み、緊急事態宣言解除後の段階的な経済活動再開の一方で、更なる感染拡大の懸念されており、先行きは不透明な状態で推移しております。

当社グループが属する不動産業界では、低金利環境下での良好な資金調達環境を背景として、国内外の投資家による物件取得意欲は引き続き高い状況にあり堅調な推移を見せてはいるものの、一方で新型コロナウイルス感染症の影響により、先行きの不確実性の高まりから意思決定を先送りし、様子見姿勢を取っている主体も多く、今後の感染拡大状況によっては市場が変動する可能性があります。

また、ホテル・商業施設におきましては、訪日外国人旅行者の渡航制限や、緊急事態宣言下における外出自粛要請の影響により、国内外の旅行需要は激減し深刻な打撃を受けました。緊急事態宣言解除後の、政府・行政による経済支援政策により、一部回復の兆しがあったものの感染拡大には歯止めがかからず、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループでは、投資対象とする不動産の潜在的価値を高めたうえで販売を行うプリンシパルインベストメント事業、プロパティマネジメントサービス（物件ごとのニーズに合ったオーダーメイド型の入居者管理代行サービス）及び賃貸事業や不動産賃貸・売買の仲介業務を行うソリューション事業並びに当社の連結子会社である株式会社大多喜ハーブガーデン（以下、大多喜ハーブガーデン）でハーブガーデンの運営、卸売りを行うその他事業にそれぞれ注力してまいりました。

この結果、売上高は1,051,609千円（前年同四半期比130.6%増）、営業損失は451,085千円（前年同四半期は営業損失546,866千円）、経常損失は632,694千円（前年同四半期は経常損失582,761千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は634,163千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失584,020千円）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

(プリンシパルインベストメント事業)

プリンシパルインベストメント事業につきましては、当第3四半期連結累計期間において販売用不動産を6件売却した結果、売上高は617,196千円（前年同四半期の売上高は一千円）、セグメント損失（営業損失）は265,353千円（前年同四半期は208,258千円の営業損失）となりました。

(ソリューション事業)

ソリューション事業につきましては、賃貸事業において和歌山マリーナシティ内3施設の配当金収入及び賃貸事業の賃料収入を計上し、新規の建物管理受託に引き続き取り組んだ結果、売上高は296,164千円（前年同四半期比2.8%減）、セグメント利益（営業利益）は9,820千円（前年同四半期は126,357千円の営業損失）となりました。

(その他)

連結子会社の大多喜ハーブガーデンが運営するハーブガーデンにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による来園者数の落ち込みがあったものの、SNS等を利用した広告戦略の奏功により、最終的には来園者数が増加し、順調に売上高を伸ばしました。また、外食チェーンが感染拡大による営業自粛を余儀なくされたことで、外食業界向けの卸売りは苦戦した一方、巣籠り需要によるスーパーマーケットへの卸売りは伸長し、前年並の売上まで持ち直しました。

この結果、売上高は138,248千円（前年同四半期比8.5%減）、セグメント利益（営業利益）は6,939千円（前年同四半期比216.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、流動資産は前連結会計年度末に比べ873,838千円減少し、3,125,780千円となりました。これは主として、現金及び預金が91,853千円増加したものの、販売用不動産が731,834千円減少したこと等によるものです。固定資産は前連結会計年度末と比べ26,807千円増加し55,125千円となりました。これは主として、無形固定資産が26,983千円増加したこと等によるものです。この結果、資産合計は前連結会計年度末と比べ847,031千円減少し3,180,905千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債につきましては、流動負債は前連結会計年度末と比べ636,372千円増加し

1,442,456千円となりました。これは主として、短期借入金が274,406千円減少した一方で、1年内返済予定の長期借入金が増加した883,185千円増加したこと等によるものです。固定負債は前連結会計年度末に比べ861,476千円減少し350,022千円となりました。これは主として、長期借入金が861,074千円減少したこと等によるものです。この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ225,103千円減少し1,792,478千円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ621,927千円減少し1,388,426千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月12日発表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	819,677	911,531
売掛金	48,900	60,450
販売用不動産	2,615,030	1,883,196
その他のたな卸資産	9,445	13,608
その他	507,459	257,809
貸倒引当金	△895	△815
流動資産合計	3,999,619	3,125,780
固定資産		
有形固定資産	5,735	5,747
無形固定資産	48	27,031
投資その他の資産		
投資その他の資産	120,534	120,346
貸倒引当金	△98,000	△98,000
投資その他の資産合計	22,534	22,346
固定資産合計	28,318	55,125
資産合計	4,027,937	3,180,905
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,217	10,623
短期借入金	274,406	—
1年内返済予定の長期借入金	215,000	1,098,185
未払法人税等	369	2,361
前受金	12,157	12,818
賞与引当金	10,877	3,863
その他	287,054	314,603
流動負債合計	806,083	1,442,456
固定負債		
長期借入金	1,203,889	342,815
その他	7,610	7,207
固定負債合計	1,211,499	350,022
負債合計	2,017,582	1,792,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,133,205	1,133,205
資本剰余金	903,204	903,204
利益剰余金	△36,151	△670,314
自己株式	△2,476	△2,476
株主資本合計	1,997,781	1,363,618
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,139	1,472
その他の包括利益累計額合計	2,139	1,472
新株予約権	10,432	23,335
純資産合計	2,010,354	1,388,426
負債純資産合計	4,027,937	3,180,905

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	455,934	1,051,609
売上原価	354,412	958,318
売上総利益	101,521	93,291
販売費及び一般管理費	648,388	544,377
営業損失(△)	△546,866	△451,085
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,366	39
受取保険金	3,177	289
助成金収入	—	4,062
その他	1,324	720
営業外収益合計	5,869	5,112
営業外費用		
支払利息	22,761	14,500
資金調達費用	17,515	3,351
契約解約損	—	168,215
その他	1,486	653
営業外費用合計	41,763	186,721
経常損失(△)	△582,761	△632,694
税金等調整前四半期純損失(△)	△582,761	△632,694
法人税等	1,258	1,958
四半期純損失(△)	△584,020	△634,653
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△490
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△584,020	△634,163

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純損失(△)	△584,020	△634,653
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	722	△667
その他の包括利益合計	722	△667
四半期包括利益	△583,298	△635,320
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△583,298	△634,830
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△490

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	計 (注) 3
	プリンシパル インベスト メント事業	ソリューション 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	—	304,826	304,826	151,108	—	455,934
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	15,438	△15,438	—
計	—	304,826	304,826	166,546	△15,438	455,934
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	△208,258	△126,357	△334,615	2,191	△214,442	△546,866

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハーブガーデンの運営事業であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△214,442千円には、セグメント間取引消去△15,438千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△199,004千円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	計 (注) 3
	プリンシパル インベスト メント事業	ソリューション 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	617,196	296,164	913,361	138,248	—	1,051,609
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	16,410	△16,410	—
計	617,196	296,164	913,361	154,658	△16,410	1,051,609
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	△265,353	9,820	△255,533	6,939	△202,491	△451,085

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ハーブガーデンの運営事業及びハーブの生産事業であります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△202,491千円には、セグメント間取引消去△16,410千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△186,081千円が含まれております。全社費用は報告セグメントに帰属しない本社の費用であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。